

〈ケア〉を考える会 (第98回)

■日時：2014年**10月19日** 13:30~17:30

■会場：京都市山科区安朱中溝町3-2
山科駅より東 徒歩3~4分の民家 (山添さん)

■内容

(1) 学習会 (読書会)

次の本を読んで思うこと・考えること、また、そこから連想・想起する諸々なことについて、語り合います。

池上哲司著『傍らにあること — 老いと介護の倫理学 — 』(筑摩選書)

第6章 **「死ということ」**

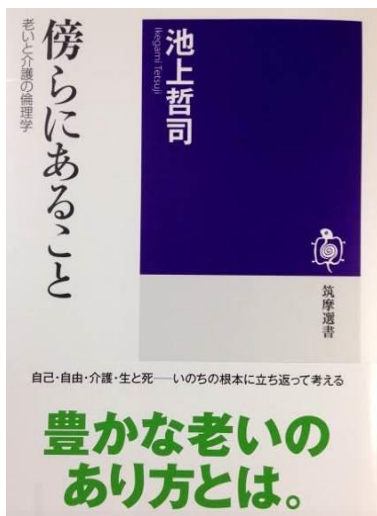
(2) 懇親会……食べ飲み語り合う (持ち込み歓迎)。

※懇親会参加者で実費 (500~1000円程度) ご負担願います。

■参加申し込み・問い合わせ ⇒ 林まで：884michiya@gmail.com 090-5366-1497

★どなたでも参加できます。初参加歓迎。飛び入り参加、突然参加もありです。

★読んでいなくても大きな顔で参加できる会です。(読んできてほしいけど……)



われわれは他者の精神とともに歩むことで自らの精神を形成していく。つまり、われわれの精神は他者の精神を内に含んでいる。他者の精神にも私の精神が含まれている。死んでしまった友人たちの精神は、私の精神の一部として私と共に生きている。……

われわれはいつか死ぬ。個体としては消滅する。しかし、精神の歩みを共にした人がいる限り、その人の内にわれわれは生きている。(P225-226)

■当日の大まかな予定は次のとおりです
12:45 ⇒ 有志集合…会場準備、買い出し等
13:30 ⇒ 学習会(読書会)
15:30頃~ ⇒ 懇親会(笑いヨガなども)
17:00~17:30 ⇒ 片付け、終了
(その後で、名残惜しコーヒータイム?)

■メーリングリストご希望の方はこちらにメールを
care-phil@googlegroups.com

「〈ケア〉を考える会」(京都) ホームページ
<http://care-kyoto.jimdo.com/>

岡山でも「〈ケア〉を考える会-岡山」が……
<http://okayama-care.jimdo.com/>



「言葉を手がかりに考える時間をもつこと」
「確かめながらゆっくりと考える時間を共にし、分け合う」
「結論はありません」
「プロセスをゆたかに」
(長田弘『なつかしい時間』より)

ひととひととの関係において重要なのは、各人が主体的にどのようにしようとしているかではなくて、いつとはなしにお互いが心を開いてしまっているという事態である。

(池上哲司『傍らにあること』P.169)